

JAグループ北海道の農政活動強化に向けて

第7回「業界を代表する候補者を選ぶことの重要性」について

農政活動の柱の一つが、生産現場の声を代弁し、国や行政に積極的な働きかけをしてくれる議員を政治の場に送り出し、支えていくことです。そのため、JAグループにとって最も重要なのが「参議院選挙比例代表」です。

重要な当選順位

参議院選挙の比例代表には、様々な業界や団体が代表候補を送り出し、いかに多くの票を獲得し、当選順位を上げるかということにどの団体も惜しみなく努力しています。これは、高い順位で当選した候補者は、党内での発言力が増し、政策実現に近づくことができるからです。

過去の参議院選挙（比例代表）

2019年の自民党の比例代表の得票数順位を見てみると、第1位は郵政グループで60万票獲得しており、JAグループは約21万票でした。結果、郵政グループは悲願だった「貯金預入限度額の拡大」を実現しています。一方、JAグループの得票数は2022年の選挙の際には18万票まで減少してしまい、このままでは私たちJAグループの声、要望を実現することが困難になる危機的状況に陥ることになります。

問われる組織力

このように選挙の結果、業界や団体ごとの得票数が分かります。市町村別にも得票数が公表されます。この得票数によって我々JAグループの力が測られることになります。つまり、参議院選挙(比例代表)は、我が国の農業、JAグループのための組織選挙であります。

組織力の結集を!

多くの得票数を得て高い順位で当選した候補者は、政府・与党内での発言力が増し、政策の実現可能性が高まります。過去の参議院選挙(比例代表)での危機感を踏まえ、改めて組織選挙の意義を共有の上、候補者の認知度を高め、組織力の結集による運動を徹底することが大切です。

【JAグループ北海道の農政活動強化に向けて】と題し、農政活動や参議院選挙の仕組みなどを、来年まで連載いたします。次回(最終回)は、「JAグループの代表議員がなぜ必要なのか」について報告します。

郵政グループとJAグループ得票数の推移



自民党 全国比例区 得票数順位 (2019年)

団体・業界	得票数	議員名
1. 郵政	60万票	柘植芳文
2. (漫画など)	54万票	山田太郎
4. 防衛関係	24万票	佐藤正久
5. 建設	23万票	佐藤信秋
7. JA	21万票	山田俊男

※2022年 18万票 藤木しんや



東野ひでき公式
LINEアカウントへの
登録はこちらから



東野ひでき北海道後援会



JAたきかわ 新入職員のご紹介

①生年月日 ②出身校 ③趣味・特技 ④抱負



営農部農業経営課

かり た かい
菊 田 快

- ①平成17年1月26日
- ②國學院大學北海道短期大学部
- ③サッカー、サウナ
- ④短大生活の2年間で学んだことを活かして少しでも早く仕事に慣れ積極的に挑戦していきたいです。周りへの感謝の気持ちを忘れずに働きます。



金融共済部（滝の川支店）

い とう あや ね
伊 藤 綾 音

- ①平成16年12月24日
- ②國學院大學北海道短期大学部
- ③音楽鑑賞
- ④地域の発展に貢献できるよう努めます。積極的に学び、信頼される職員を目指して成長していきます。新たな環境での挑戦を楽しみながら、一つひとつの経験を大切にしていきます。

職員の動向について

●退職者（令和7年3月31日付）

総務部経理課 課長
販売部販売施設課 課長
金融共済部 共済推進課 課長
金融共済部 融資課 課長

土古高 高
橋市木 橋
大拓悠 協
和人希 子